

3月9日に、30年度当初予算の審査を行いました。主な質疑の内容をお知らせします。

一般一會

定住住宅 総務 企画

定住促進住宅の整備内容は。

答 単身者向けのアパート型で、6世帯分の住宅を整備する。場所は野中地区で調整を進めている。

移住定住 総務 企画

移住定住コーディネーターの役割は。

バイオマス プラント 農林 環境

畜ふんバイオマスプラント建設用地等調査業務の内容は。

答 バイオマスプラントの利用者数や家畜頭数などを勘案し、候補地を選出して地質調査、条件調査、環境調査を行う。

健康管理 健康 福祉

健康管理システムの概要は。

答 健診、予防接種、母子保健、保健指導などを世帯ごとに情報管理し、住民の健康増進を図る。

グリーンテージ 総務 企画

グリーンテージ本館改修工事の内容は。

答 屋根のふき替え、外壁の塗装や補修、玄関ホールとトイレの改修、

暮らし体験 総務 企画

くずまき暮らし体験ツアーの内容は。

答 町に興味がある人たちから、町内の暮らしを体験し民泊してもらおう。体験そのものが大きな魅力発信となるもの。29年度には9月と2月の2回行っている。

コミュニティ 総務 企画

くずまきコミュニティ構築業務の内容は。

答 町に関わったことがある町外の人たちに、くずまきファンとしてつながりを持ち、首都圏で町の情報発信に協力してもらおう。

道の駅 レストラン 農林 環境

道の駅レストラン概略設計業務の内容は。

答 レストランの利用者が主になどのような方々で、どのような食事を提供するか、そのための間取りや内装などを検討する。

町営住宅 建設 水道

町営住宅長寿命化修繕工事の対象と修繕内容は。

答 41年経過している堀の内住宅の外壁の補修を行い、サッシと玄関のドアを取り換えて結露を抑制し住宅の延命化を図る。

インターンシップ 政策 秘書

葛巻型インターンシップ受入業務の内容は。

答 大学生に役場や第三セクターの職業体験をしてもらう。29年度は岩手大学、岩手県立大学、盛岡大学の学生16人を受け入れた。30年度は県外の大学からも受け入れる。

新庁舎建設 政策 秘書

新庁舎建設基本設計業務の内容と今後のスケジュールは。

答 新庁舎の基本設計、



葛巻型インターンシップに参加する大学生。若者から町に興味を持ってもらう取り組みです。

特別一會

国保運営 国保 会計

30年度から都道府県化となるが、今後の国保運営の課題と対策は。

答 一般会計からのルール外の繰り入れは県の方針で解消していく方向にあるため、中長期的な財源確保が課題。当町は町民一人当たりの医療費が高いことから、検診率を向上し病気の早期発見、早期治療によって医療費を抑制したいと考える。基金残高を増やし税の徴収率を上げることが財源の確保策となる。

賛成討論(要約)

山崎 邦廣 議員



30年度当初予算について、賛成の立場で意見を述べます。

30年度は町総合計画・前期基本計画の3年目となりますが、人口減少対策事業や老朽化した公共施設の更新事業継続などの課題解決に向けた重点施策と他分野の施策との調和がとれた予算内容です。

人口減少対策として、単身者用の定住促進住宅を整備するほか、くずまきコミュニティ構築業務、移住定住コーディネーターの配置など定住の成果につながる施策です。若者子育て世代支援施策として、産婦健康診査事業、新生児聴覚検診事業など魅力ある子育て環境づくりが図られています。

生ごみ収集 農林 環境

生ごみ収集を委託にする理由は。

答 生ごみを処理しているバイオマスプラントは廃棄物処理施設ではないため収集業務は町直営でなければならなかった。近年、こういった施設が全国的に増えており、あらためて県と協議し委託でもよいとの回答を得たため、30年度から委託業務とする。委託料の内容は人件費と車両購入費。

反対討論なし

30年度当初予算は、基本構想に掲げられた「未来を協創する高原文化の町」の実現に向けた各施策の進展を図ることにより安全安心のまちづくりと移住定住人口の増加を目指すにふさわしい内容で評価します。